



【大谷家文書】 1 - 5

伊賀氏譜記

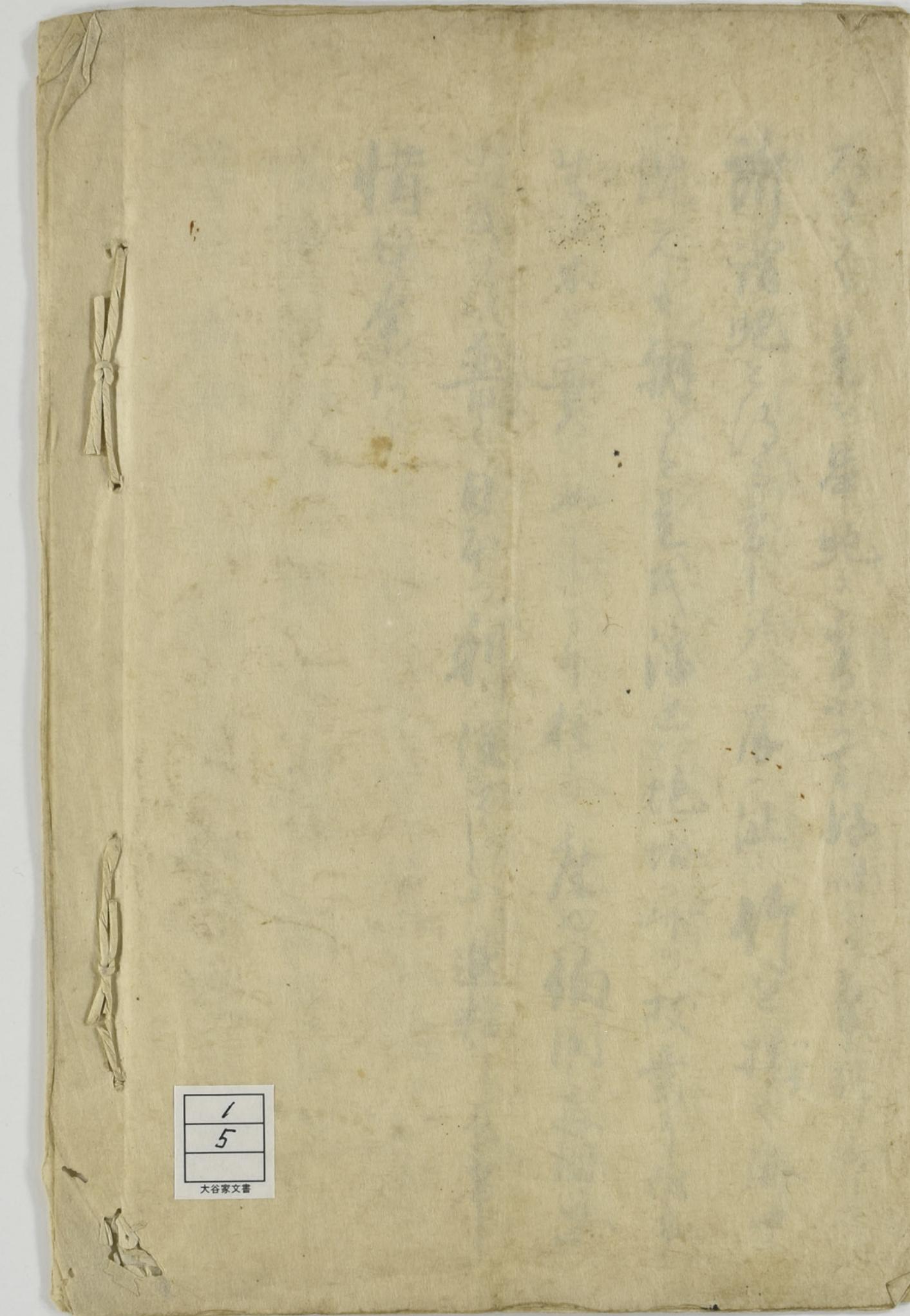
大谷村川竹鴻坂海之章

大谷村川兩家合掌住古のきのく代くある
町人を子孫今に町奉公役郷ひゆ兩家竹鴻坂海之
詳故主某の五年、南國府の太守中村伊賀守
忠一変、長さに年、卒去ひ川く嗣つぐむと故跡
御後後も、三後えの二年まく、因主をして溝
頃かと、伊賀守代奉公武殿主と來事一と

高城は右一船を被護り、又和二年阿波國
より近島あり、以て又近竹島海海に事半とす
船に附事、江半新太郎、走政久、高國と、対領し
て入船有り、久安、又是波於水越、走政久、氏
船共て是城、免まし、又竹島、押波、押腕、
とまく、又後、每年波山島、船共に走波水申す
年、波山島、免まし、群木、波腕とす、又波島と
制、もんじも更、又入もこれにあり、既、高國
及んじ、はよる、而、年、免まし、帰帆、又入、登、而
の年、波山島、免まし、唐人、數多、波、免まし、
海、腕と、はまし、候、又氏、謀と、か、多、人、持、か
石、連、と、帰帆、又、同年、以、月、吉、木、の、刻、未、
音と、小、及、小、清源、清源、國、大、谷、村、川、善、多、人、と、多、波、
音と、小、及、小、清源、清源、國、大、谷、村、川、善、多、人、と、多、波、
石、連、多、津、波、以、水、の、上、東、波、云、上、多、朝、難、國、す、も

使とひく。彼島の事程、折詰、よりも、遙か彼島
朝鮮の附せん。今、古村川、波浪、既停止、終ります
是を退転。今、西、島波、まづ、竹波、す
日本と離れて、車、幽鬼、と、朝鮮、往還。波島の事
四月、又、之、波國、波國、海、彌、キ、朝鮮、燒
押波、島、源波、乾、波、す。朝鮮、
祖母、波國、の、添金山、浦、す。太里、夜、東
波浦、被、火、走、怪、る、や、夏、る、い、萬
あり、海航、秋、到、廢北、風、寒、常、航、
波、海、の、行、齡、波、限、子、誠、志、海、上、風、波、
凌、る、も、島、の、飛、ち、ニ、れ、山、山、嶽、境、内
廣、の、人、民、古、大、作、喬、本、高、盛、法、島、僕
歎、多、く、矣、貝、鼈、類、高、強、出、充、海、く、度、也、是、所
海、う、と、や、其、病、の、海、方、差、異、る、泉、う、と、之、う、
世、海、小、生、多、る、猶、虎、殺、す、殺、、海、う、と、今、
尾、の、殺、く、凶、れ、る、セ、の、人、作、將、猶、林、う、と、ま、蛇、極

大きくなきを牛蛇ウシヘビとすがよしを好シキむ事モノをうかがひ
所謂蛇ヘビと云ふ事モノアリテ居リテ竹チクと携ツキく海シマ
沈シム泡ボヤと是コレ成ル滿マツル地ジ哈ハアツハ枝葉シキエイアリ附ツブ
生スル木キの實シタマの如シテ事モノ外スル枝葉シキエイの實シタマの如シテ同シテ圓マツル不ハ
小ハ及シ之シテ而ハ自リの利リ潤ルアリシテ退轉タツツル及シ事モノ
情シテ常ルハ



【大谷家文書】 1-5

4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5 6 7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5